

国士舘大学関係者の皆様へ

昨夏より母校であります我が国士舘に対しての不正疑惑、正常化に向けての糾弾活動を続けて参りましたが、学校側がその趣旨を汲み上げ調査委員会を立ち上げ、真摯に調査を開始致しました。その様子を静観するという事で、活動を休止していましたが、同窓の争いは、正しかろうが間違つていようがいずれにしても、それは漁夫の利となり、少子化の現状を憂うる時、決して得策ではない、という助言を頂き、これ以上続けると情報が益々錯綜し学内を混乱に陥れる可能性もあり、また現実には私が強く申し出ていた元大学院事務局長の原田優の詐欺行為が再度認識され、先日世田谷署に逮捕されたということもあって、ここは学内の自浄作用に期待する事に致しました。学校を思い行動したことである事、団体行動である事を考えた時、これ以上の糾弾活動は寧ろ迷惑を掛ける事になる、「戦いに時あり、終りにもまた時あり」との判断に至り、昨夏から続けて参りました活動はここに終止符を打つ事に致しました。

国士舘大学関係者の皆様には、多大な御心配をおかけ致しましたことを、先ずはお詫び申し上げます。今後は大学発展の為に、前にも増して更なる後方支援をして行きたいと思えます。

敬 天 新 聞 社

社 主 白 倉 康 夫

平成二〇年六月二日